

Nakamura Choukou REPORT

第49期 年次報告書

2018年4月1日～2019年3月31日



人の暮らしに役立つイノベーションを目指します



株式会社 中村超硬

証券コード：6166

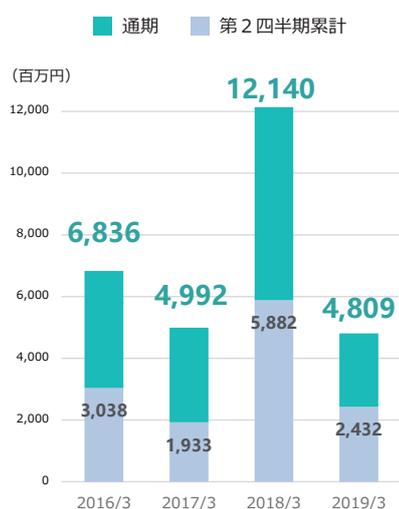
当社グループは、主力事業である電子材料スライス周辺事業において、中国政府による太陽光発電に関する補助金の打ち切りの影響により太陽光市場全体が一時的に縮小し、ダイヤモンドワイヤの出荷量が大きく減少したことに加え、市況の悪化に伴い、当連結会計年度においてダイヤモンドワイヤの販売価格が約 7 割下落した影響等により、売上高が前連結会計年度を大きく下回る結果となりました。

また、損益面においても、減収による影響に加え、ダイヤモンドワイヤの製品在庫及び原材料等の評価減の実施ならびに固定資産に係る減損損失の計上等により、多額の損失を計上することとなりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は 4,809 百万円（前期比 60.4%減）、営業損失は 4,193 百万円（前期は 1,570 百万円の営業利益）、経常損失は 4,263 百万円（前期は 1,365 百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は 9,721 百万円（前期は 1,381 百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となり、当連結会計年度末において 1,329 百万円の債務超過となっております。

財務ハイライト（連結）

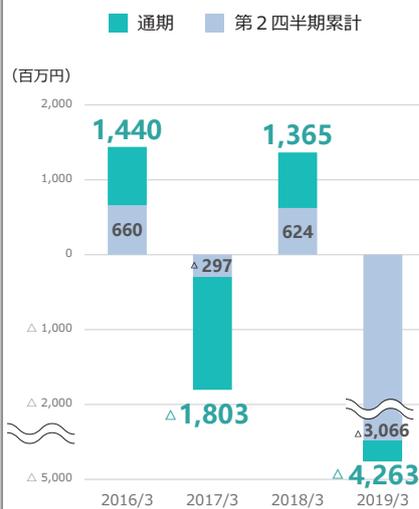
売上高



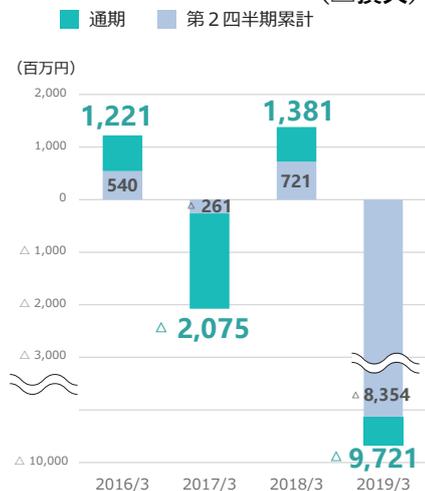
営業利益（△損失）



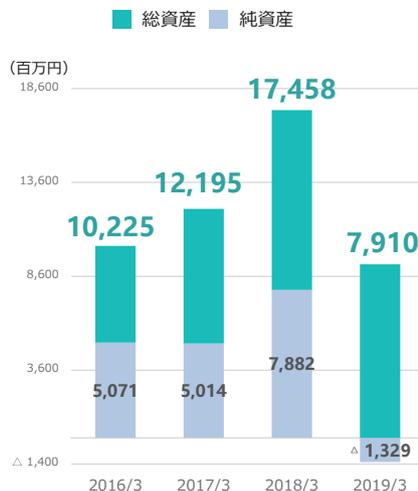
経常利益（△損失）



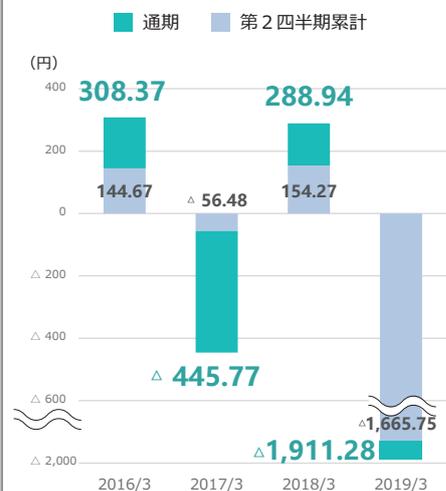
親会社株主に帰属する当期純利益（△損失）



総資産・純資産



1株当たり当期純利益（△純損失）



セグメントの状況

電子材料スライス周辺事業



太陽光市場が中国における導入抑制政策により一時的に縮小したことにより、ダイヤモンドワイヤの出荷量は大きく減少しました。また、市況悪化に伴い、販売価格が約7割下落したことで売上高は大幅に減少し、損益面では減収要因に加えダイヤモンドワイヤ製品や原材料への評価減を行った影響などもあり、巨額の営業損失を計上することとなりました。

特殊精密機器事業



好調な市場環境を背景に、産業機械向け実装ノズルや工作機械向け耐磨工具ともに売上を伸ばし、売上高については約9億円と前期に比べ増加しましたが、利益については、本社経費の配賦比率が上昇したことにより減少し、増収減益という結果となりました。

(子会社：日本ノズル株式会社) 化学繊維用紡糸ノズル事業



安定した事業環境の下、受注が堅調に推移したことに加え、第1四半期に計上した不織布製造装置の販売効果が大きく、売上高は前年比30%増、営業利益は前期の約2倍と、同社の過去最高の業績となりました。

セグメント別
売上構成比
(○)内は営業利益
または営業損失(△)

2,193百万円
(△4,327百万円)

45.6%

897百万円18.7%
(122百万円)

1,711百万円 35.6%
(393百万円)

連結売上高 合計 **4,809** 百万円 連結営業利益 合計 **△4,193** 百万円

注)上記合計金額には、新規事業における売上7百万円、営業損失403百万円が含まれております。

業績及び財務状態の改善に向けて

Top Message

当社は、以下の施策を実施することで、将来の成長に向けて業績及び財務状況の改善に努めてまいります。

① ダイヤモンドワイヤ販売事業について

ダイヤモンドワイヤの市場価格の下落に伴い、φ60μmのダイヤモンドワイヤでは収益の確保が難しいと判断し、より収益性の高いφ55μm以下の極細線ダイヤモンドワイヤの販売へと営業戦略を転換しておりますが、極細線ダイヤモンドワイヤについては、まだ一部の顧客においてのみ使用されている状況であり、その普及には一定の時間が必要であると思われます。

このような市場状況であることから、ダイヤモンドワイヤ製造工場である沖縄工場と和泉第2工場を閉鎖することとし、ダイヤモンドワイヤ製造を和泉工場に集約し、生産体制縮小による固定費の削減、資金流出の抑制を強力に推進するとともに、極細線ダイヤモンドワイヤ販売に特化していくことで収益確保を図ってまいります。

② ダイヤモンドワイヤ生産技術を活かした新たな取組みについて

昨年末以降、複数の中国ダイヤモンドワイヤメーカーから当社に対し、当社が優位性を有する極細線ダイヤモンドワイヤ生産に関する技術協力や協業検討の打診を受けております。

今後、当社が保有するダイヤモンドワイヤ生産設備の売却や、中国国内でのダイヤモンドワイヤ事業に関するアライアンスの締結など、当社のダイヤモンドワイヤ生産技術を活かした新たな収益構築スキームについて検討を進めてまいります。

③ 財務基盤の安定化

債務超過の解消ならびに継続的な事業運営と安定した収益基盤の整備に必要な資金を調達するため、当社は第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の発行を決議し、現在、新株予約権の行使による資金調達が開始されております。また、取引金融機関に対し、借入金の元本返済の猶予に関する申し入れを行い、各金融機関の同意を取り付けております。

当社は、主力事業であるダイヤモンドワイヤ販売事業での業績低迷に加え、固定資産の減損等を行ったことにより、当期末の時点においても債務超過の状態となっており、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。株主の皆さまにはご心配をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。

当社といたしましては、ダイヤモンドワイヤ生産技術を活かした新たな収益構築スキームの確立ならびに財務の安定化に向けた諸施策を実施し、当該状況を早期に解消するとともに、業績及び財務状況が改善できるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

代表取締役社長
工学博士

井上 誠

会社概要

(2019年3月31日現在)

商号	株式会社中村超硬
代表	代表取締役社長 井上 誠
資本金	4,028百万円
創業/設立	創業：1954年/設立：1970年12月
事業内容	ダイヤモンドワイヤの開発・製造・販売 特殊精密部品及び工具の開発・製造・販売 化学繊維用紡糸ノズル及び周辺部品の設計・製造・販売
本社所在地	〒593-8323 大阪府堺市西区鶴田町27-27
従業員数	連結：317名 単体：231名
グループ会社	日本ノズル株式会社 上海那科夢樂商貿有限公司

役員

(2019年6月27日現在)

代表取締役社長	井上 誠
専務取締役	三上 正幸
取締役	川口 晃
取締役	川岸 悟史
取締役	藤井 秀亮
取締役	田植 啓之
取締役	小原 康生
取締役	京谷 忠幸
取締役	大山 隆司
監査役(常勤)	中園 和義
監査役	松村 安之
監査役	中川 雅晴

注) 1. 取締役 京谷忠幸、大山隆司の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 中園和義、松村安之、中川雅晴の3氏は、社外監査役であります。

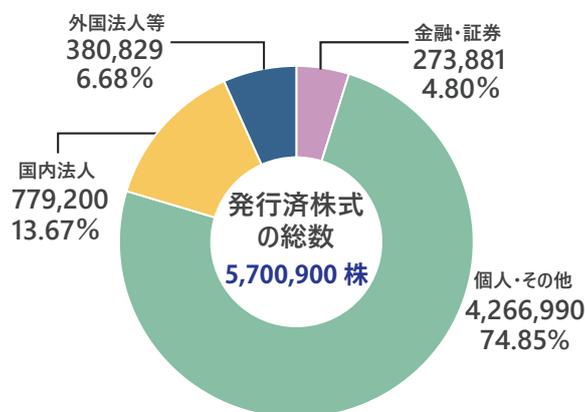
株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	13,000,000株
発行済株式の総数	5,700,900株
株主数	7,265名
大株主	

株主名	持株数	持株比率(%)
株式会社 ナカムコーポレーション	329,000	5.77
井上 誠	258,920	4.54
井上 阿佐美	165,780	2.91
井上 紘章	132,500	2.32
井上 絢哉	127,500	2.24
株式会社ヤング住研	115,500	2.03
J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000	102,243	1.79
伊藤 勝之	91,000	1.60
株式会社ヤングアート	90,000	1.58
株式会社ヤマダ	86,100	1.51

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nakamura-gp.co.jp

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が起きたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

 **Nakamura**
株式会社中村超硬

〒593-8323
大阪府堺市西区鶴田町27-27
<http://www.nakamura-gp.co.jp>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。